

三木屋通信

■ 栞（しおり）

冬号 ■

私供三木屋葬礼は浜松市西区に位置し、明治三十年創業、百二十一年の歴史を持つ葬儀屋です。

葬儀の形は、家族構成の影響や地域交流の減少など時代と共に変化し、大規模な葬儀から小規模な葬儀へと日々変化をしています。

しかし、三木屋葬礼は明治創業時より変わらず「ご家族の気持ちに寄り添った」葬儀を心掛けて参りました。

参道を歩く旅人が木の枝を折って道標とした「栞」の如く、かの地に赴かれる故人様が道に迷わぬ様、

三木屋葬礼セレモニーホール栞スタッフ一同、真心を込めて務めさせていただきます。

スタッフ一同



三木屋葬礼の会報「栞」

春・秋の人形供養祭

皆様いかがお過ごしでしょうか。三木屋葬礼の会報「栞」をお読みいただきまして、誠にありがとうございます。

こちらの会報は年4回季節の節目に発行いたします。

今更聞けない葬儀の常識や、宗教に関しての豆知識、開催されたイベント内容、これから開催されるイベント告知等、内容は様々ですので、ご覧いただけます。幸いです。

毎年3月と9月に無料開催をしている人形供養祭ですが、秋の人形供養祭が無事終了いたしました。皆様の思い出が詰まった人形達は、責任を持って御供養いたしましたので、見逃してしまった方は画像や動画にて是非チェックしてください。

QRコードを

読み取って

いただきます

すと、人形

供養の様子を動画に

てご覧いただくこと

ができます。



お悔やみの言葉

お通夜や葬式は突然訪れるものです。参列をしたお通夜等で喪主や遺族へのお悔やみの言葉は、状況に応じて簡潔に故人への冥福を祈ります。ここでは一般的な言葉や避けるべき言葉の一部を紹介します。

・一般的な例

「この度は、思いがけない事で、さぞお力落としのこととお察しいたします。心よりご冥福をお祈り申し上げます。」

・不幸の重複を連想させるような

言葉を避ける。

×「重ね重ね」 ×「度々」 ×「かえすがえすも」

・特にお世話になった方への場合

ご生前には、ひとかたならぬお世話になりました。ご恩を返そうと思っておりました矢先のこと、本当に心残りでございます。」

ご遺族への声かけは
繊細な事ですが、
これで完璧ですね。



栞の会って何・・・？

他社の互助会とは全く異なり、親族全員が特典対象で何度使用しても会員資格が無くならない、当社独自の会員制度です。
入会金は1万円としその他会費は一切ありません。



祭壇使用料を会員価格で。
通常祭壇価格の20%割引

三木屋葬礼
セレモニーホール
ホール使用料半額

初盆祭壇を通常価格の20%割引
にてご提供いたします。

想いが
優しさが
あふれるお葬式



家族葬は母の希望だった。

少しでも家族に負担をかけたくなかったのだと思う。

子 「10人だけの小さなお葬式だったけど
みんなの想いが詰まったお葬式だったネ…。」

孫 「おばあちゃんの好きだったカーネーション飾ったし
おまんじゅうもお供えしたしネ。」

家族 「おばあちゃん、今までありがとう…。」

田舎の葬儀屋らしいご家族と一緒に考えて考えるお葬式を

明治30年創業

三木屋葬礼の家族葬

有限会社 三木屋葬礼 セレモニーホール葉(しおり)

〒431-1111 静岡県浜松市西区伊左地町 2062-1

24時間365日対応

<http://www.ceremony-shiori.com/>

